



令和5年度学生募集要項は、11月上旬から下記の方法で入手できます。

「テレメール」を利用して学生募集要項の資料が請求できます。

<https://telemail.jp>

資料請求番号
募集要項 582700
募集要項・案内 542700



お問い合わせ先/テレメールカスタマーセンター tel.050-8601-0102(9:30~18:00)

「モバっちよ」を利用して学生募集要項の資料が請求できます。

<https://djcm-b.jp/juen2/>



お問い合わせ先/モバっちよカスタマーセンター tel.050-3540-5005(平日10:00~18:00)

学生募集要項は、本学ホームページに掲載していますので、
ダウンロードすることも可能です。

その他直接請求などについては、上越教育大学入試課まで tel.025-521-3294



ぜったい先生に
なりたい人のための大学

国立大学法人 上越教育大学

JOETSU UNIVERSITY of EDUCATION

大学案内
2023



学校教育学部
教員就職率

87.9%
全国第1位

令和3年3月卒業者





学長からのメッセージ

教師としての総合的な 人間力を高めるということ

本学出版会から、「上越教育大学からの提言」というシリーズの第6巻として、『「人間力」を育てる』という書物が、令和4年3月に公開されました。これまでの6年間、本学が中期目標として掲げた「21世紀を生き抜くための能力」の一つとしての「人間力」の育成について検討したものです。

国立大学は、6年間をひとくりにして、中期目標・中期計画を掲げ、それに基づいて大学運営を行っています。本学では、令和4年度から始まる第4期の6年間においても、この「人間力」を重要な理念として位置づけることにしています。

「人間力」は、中央審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」（平成17年10月）においても、「優れた教師の条件」の1つとして、「総合的な人間力」として示されています。この項の説明として、「教師には、子どもたちの人格形成に関わる者として、豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀作法をはじめ対人関係能力、コミュニケーション能力などの人格的資質を備えていることが求められる」と記されています。また、平成15年4月に内閣府から出された「人間力戦略研究会報告書」では、「知的能力的要素」「社会・対人関係的要素」「自己制御的要素」からなるものとして説明されています。

ところが、この「人間力」は、大きな辞書には掲載されていません。人間性などと比べると、まだ世間に定着した言葉とは言えないようです。しかし、人間性を含みこんだ包括的な能力概念としてその言葉が必要だと考える人々がいるからこそ、国の答申や報告書の中でも取り上げられているのだと私は思います。

教員になるためには、さまざまな学びが必要ですが、この「人間力」は、短期間で育成するのが難しい能力だと思います。また、学生の皆さんの主体性がなければ、育てようがないようにも思います。しかし、子どもたちの学びを促すには、さまざまある中でも、教師の「人間力」の影響が大きいのではないかと思います。皆さんは、学年が変わって、好意をもった教師の教える教科の成績が一気に伸びたというような経験はないでしょうか。それは、その教師の教え方の技術の問題だけでしょうか。その人の人間としての魅力が影響しているのではないのでしょうか。私たちは、そうしたことがらも含めて、皆さんが教師になることを支援したいと考えています。

本学は高い教員就職率を誇っています。一昨年度の卒業生は、全国の国立の教育養成系大学・学部の中で、教員就職率第1位になりました。本学に入学されれば、皆さんもきっと教員になることでしょ。教員になるためには、定められた科目を履修し、単位をとって卒業しなければなりません。しかし、定められた条件を満たしたから教員になりましたというのではあまりにも寂しい。同時に人間力を磨いて、子どもたちにとっての師、子どもたちから「私も先生のようにになりたい」と思ってもらえるような教師になっていただきたいのです。



上越教育大学長
林 泰成



CONTENTS

- 1 学長からのメッセージ
- 3 上越教育大学の特色
- 5 **ぜったい「先生」になりたい！
先輩たちの声**

学校教育学部

- 7 入試の概要／令和4年度入学者選抜状況／
入学～在学～卒業までの流れ
- 9 コース・領域の紹介
- 14 出身都道府県別在学者数
- 15 カリキュラム(特色のある教育課程)／
卒業要件と取得できる免許状・資格
- 16 少人数教育のシステムとクラス制度／
副専攻プログラム／
学部・大学院接続推進プログラム
- 17 教育実習の重視
- 18 ボランティア活動の授業化／学校実習・ボランティア支援室／
上越教育大学のボランティア
- 19 「海外教育研究」の実施／海外交流協定校／
留学生交流・地域支援
- 20 在学中の保険と相談窓口
- 21 納付金と奨学金
- 22 大学院との関連／大学院学校教育研究科

就職・進路

- 23 プレイスメントプラザ／キャリアコーディネーター／
就職支援 教員採用試験対策講座等
- 24 教員採用試験対策スケジュール／就職状況
- 25 **学びのひろば**

Campus Life

- 27 キャンパスカレンダー／上教大生の1日
- 28 課外活動
- 29 Campus Map／学生サポート施設
- 36 キャンパス周辺
- 37 本学へのアクセス／問合せ先
- 38 オープンキャンパス

ぜったい先生になりたい人をサポートする!

上越教育大学 12の特色



1 適性と課題を見つけ
2年次にコース選択

1年次に自分の適性と課題を見つけた上で、2年次から専門性を深めるため、希望のコースへ所属。

p.7

2 全国から学生が集まる
大学

教員への夢を実現するため、北は北海道から南は沖縄県まで全国各地から学生が集まる大学。

p.14

3 人間理解をめざした
豊富なカリキュラム

教育の基本である人間そのものの理解から始まり、実践的指導力など教員に必要な資質・専門性を高めていくための充実したカリキュラム。

p.15

4 小一種免許から
幼・中・高一種免許
まで取得可能

卒業要件としての小学校教諭一種免許状のほか、様々な教員を目指して幼・中・高教諭一種免許状も取得可能。

p.15

5 保育士などの資格取得

保育士、学校図書館司書教諭の資格が取得可能。

p.15

6 少人数教育のシステム

1年次は1クラス10人程度のグループ、2年次以降はコース・領域の特定分野に分かれての少人数による履修。

p.16

7 充実した教育実習を
1年次から開始

教育実習を1年次から実施し、学校現場の理解を深め、さらに専門科目を習得した上で本格的な実習を行い、即戦力となる教員を養成。

p.17

8 地域や学校での
ボランティア活動

地域の教育機関や学校現場でのボランティア活動を通して、教員として求められる社会性やコミュニケーション能力を向上。

p.18

9 異文化理解マインド
を持った学生の育成

海外の学校で授業参観・実践を行う授業科目「海外教育研究」の開設、留学生との交流や外国につながる子どもたちへの修学支援。

p.19

10 現職教員との交流が活発

大学院には小・中学校などの現職教員が約100人在学。授業などでの交流を通し、直接、現場の様子が学べる環境。

p.22

教員就職率 87.9%!!

11 充実した就職サポート

キャリアコーディネーターによる教員採用試験対策、計画的な教員採用試験対策講座など入学時から教員への夢を実現するために強力サポート。

p.23

12 大学会館や学生宿舎による
生活サポート

大学会館内の施設は学生証を使いキャッシュレスで利用可能。学生宿舎は大学のキャンパスに隣接し多くの学生が入居。

p.31

上越教育大学のイメージキャラクター
マナーブ・デ・ジョーキョー先生

上越教育大学の校舎をモチーフとしたキャラクター。未来に向かって飛躍するためのマントをなびかせ、額の大学名を、その志のように光り輝かせています。気品高く、雪に耐える丈夫な体と生涯学び続ける強い意志を持っています。チャームポイントは泣きぼくろ。感動屋で涙もろい性格です。



ぜったい「先生」になりたい！ 先輩たちの声



こいど ゆき
小井戸 結貴さん
先端教科・領域学習コース 2年
群馬県 前橋南高校

周りから良い刺激を受け
毎日がとても充実しています！

上教大を選んだ理由は？

「ぜったい先生になりたい人のための大学」というキャッチフレーズに惹かれたことと、「この大学なら同じ志望の人たちと共に良い学生生活が送れそう」と感じたからです。入学してみて、実際に周りから良い刺激を受け、毎日がとても充実しています。講義はアクティブラーニング形式もあれば座学もあり、新しい知識や視点が得られた時はワクワクしますし、友人たちと感想や意見を話し合うのもとても楽しいです！

将来どんな先生になりたいですか？

一人ひとりに寄り添える先生になりたいです。私が先生になりたいと思ったのは、青春の詰まった学校という場所が大好きだから。「学校が大好き」と言えるのは、何より中学時代の恩師の影響が大きいです。その先生は生徒たちを一括りに扱うのではなく、一人ひとりの小さな変化にも気付いて丁寧にケアしてくださる素晴らしい先生でした。学校は勉強ももちろん大事なことです。それ以前にまずは通えること、「学校に行きたい」と思えることが大事だと思います。私もそういう学校づくり、クラスづくりができる先生になりたいです。

高校生の皆さんへのメッセージを！

上教大は学生同士の情報交換が活発ですし、サポート体制も充実しています。私の場合、2年次からのコース選択や授業選択を迷っていた時に先輩方が具体的なアドバイスをくださり、それがすごく助けになりました。同学年も先輩後輩も、学生同士の関わりがたくさんあるのがこの大学の良いところだと思います！
ぜったい先生になりたい皆さん、ぜひ私たちと一緒に切磋琢磨しませんか？



てらさわ ゆうと
寺澤 優人さん
教科内容構成コース(数学) 2年
新潟県 長岡大手高校

学ぶことは楽しいことだと
子どもたちに感じさせられる
ような先生になりたい！

先生を目指すようになったきっかけは？

教員をしている両親の影響が大きいです。小学生の時には「将来は先生になる」という夢は決まっていました。ただ、中学時代は陸上競技の指導に興味があり、家庭科の実習で小さな子たちと触れ合ってから「保育士も面白そう」、高校では理科や数学が好きで「教科指導もいいな」と、何の先生になりたいのかが決められないままだったんです。上教大は1年次では色々なことを学びながら、2年次にコース選択をして希望の教員免許を目指すというところが自分にはぴったりだと思い、ここに決めました。

大学生活はどうですか？

同級生も先輩方もみんな優しく、楽しく学校生活を送れています。部活動やアルバイトなどを通じて高校までには無かった様々な経験もでき、講義以外のこともすべて勉強になっています。たとえばアルバイトはそれ自身が社会経験ですし、僕の場合はスケジュール管理の面で成長に繋がりました。入学してすぐの頃からアルバイトを3つ掛け持ちしていて、最初は予定がぶつかりそうになって慌てたこともあったのですが、徐々に慣れて自己管理ができるようになり、今は毎日が充実しています！

将来どんな先生になりたいですか？

学ぶことは楽しいことだと子どもたちに感じさせられるような先生になりたいです。僕が数学を好きになったのは高1の時に出会った先生のおかげなのですが、僕だけではなくクラスの全員がその先生の授業を「すごく楽しい」と言って受けていたんです。教員免許の種類が何であっても、「自分もああいう先生になりたい」というのはずっと変わらない目標です。



むらた しおり
村田 汐里さん
幼年教育コース 2年
長野県 松商学園高校

あらゆる場面で
「人と関わる機会」が沢山！

入学してみようですか？

上教大は「先生になる」という夢を叶えるための支援が手厚く、同じ目標の仲間も沢山いて、とても良い環境だと思います。総合大学などと比べると全体の学生数は少ないですが、講義や実習、部活動など、あらゆる場面で「人と関わる機会」が沢山あるので自然と繋がりが深まり、良い人間関係はむしろ多いと感じています。グループ活動や部活動の話し合いをしたい時も、学食やPOTATO(談話室)のような気軽に集まれる施設があるのでとても助かっています。

講義の様子を教えてください。

上教大は実践的な授業が豊富で、1年次では、自分たちが子どもの立場になって竹とんぼや紙コップのタワーを作ったりしながら「教える側の視点」を考えるという授業がとても楽しく、ためになりました。少人数グループで意見を述べ合う授業もあって、自分には無かった意見を聞きながら自分の考えも更に深められたのがとても良かったです。特に印象的だったのは、複数の学校の授業を観察させてもらう「観察実習」です。生徒側・先生側それぞれの視点から新たな発見があり、授業内での工夫をたくさん見つけることができました。

将来どんな先生になりたいですか？

私は10歳離れた弟がいて、母と一緒に面倒をみるうちに「小さい子ってかわいい、子どもに関わる仕事に就きたい」と思うようになりました。今はまだ小学校と幼稚園のどちらを目指すか考え中ですが、幅広く学びながら考え、決められる上教大で良かったです。私も、子どもたちが様々な経験と共に自信をもって成長していけるような、そんな支援のできる先生になりたいです。



つかはら けいた
塚原 敬太さん
教科内容構成コース(社会) 2年
栃木県 足利高校

切磋琢磨にはもってこいの場所！

大学生活はどうですか？

同じ目標の学生ばかりなので、入学して「やはり切磋琢磨にはもってこいの場所だ」と改めて感じました。先生方も親しみやすいばかりで質問には分かりやすく応えてくださいますし、まず学生の考えを受け止めた上で、経験豊富な観点から「どうすればもっと良くなるか」を授けてくださいます。生活面では、僕は学生宿舎に入っているのですがいつも周りに友人がいて、一緒に勉強したり遊んだり、楽しく暮らしています。洗濯機の順番待ちが面倒だなと思うことが時々ある程度で(笑)、特に不便はありません。

驚いたこと、印象に残っていることは？

雪国の雪の量に驚きました！大変なこともあります。せっかく雪国に暮らすならスノーボードに挑戦したいと思っていたのが実現できて良かったです。初の冬には20回近く妙高高原に通いました。サッカー部に入っているのですが、冬は雪でグラウンドが使えない代わりにいつでも利用できるトレーニング室があるので、そちらもよく通いました。講義では、小学生のように図工や音楽を自分たちがやってみる授業が印象的でした。小学生の頃には教わる側の視点しかありませんでしたが、今改めてやってみると「自分がこれを教えるとしたら」と考えながらになるので、全く違う学びがありました。

高校生の皆さんへのメッセージを！

上教大は1年次から教育実習ができますし、「学びのひろば」など様々な実践的な活動を通して教員としての知識・技術を養うことができる環境が揃っています。それに、取得を目指す教員免許の分野も豊富です。「先生になりたい!」という皆さん、ぜひ僕たちと一緒に学びましょう！



ごとう きみこ
後藤 公子さん
現代教育課題コース(発達と教育連携) 2年
新潟県 高田北城高校

みんなが同じ志の仲間なので
とても心強いです

先生を目指すようになったきっかけは？

教育に興味を持ったのは、中学校の実習で子どもたちと関わった経験がとても楽しかったからです。でも小学生の頃は病気の家族のために言語聴覚士になりたいと思っていました。心身の回復の面で心理学にも興味があって、色々調べるなかで、現代の教育には「子どものレジリエンス*の欠如」という課題があることを知りました。進路についてはとても悩みましたが、教育学部に進もうと決めて、その後、上教大は教員就職率の高さやカリキュラムの豊富さ、そして私にとっては地元の大学だからこそ学べる良さもあると考えて選びました。

入学してみようですか？

クラス・学年の壁を越えての関わりが想像以上に多くて驚きました。中学～高校では部活や委員会など、ある程度限られたコミュニティでしか関わる機会がありませんが、上教大では普段の講義や課外活動なども含めて、本当にたくさんの接点があります。そのみんなが同じ志の仲間なのでとても心強いですし、日々充実しています。授業では、あるとき先生が「教員は子どもを育てるのが仕事。ただ優しい先生ではなく、子どもたちが大人になった時にも心に残ることを教えられるかどうか大事」と仰ったのが印象に残っています。私は「一人ひとりに寄り添える先生」が目標なのですが、とても大切な指摘をいただきました。

高校生の皆さんへのメッセージを！

もし進路に悩んでいるなら、「何になりたいか」ではなく「何を学びたいか」で考えてみるのも良いかもしれません。自分が納得するまで考えることも大切です。高校生の皆さん、今できることを精一杯頑張ってください！
※レジリエンス：適応力、逆境から回復する力



上越教育大学に入学して一年過ぎた先輩たちにインタビュー。なぜ上教大を選んだのか、授業の様子、課外活動や大学生活のこと、いろいろ話してもらいました！

学校教育学部

入試の概要

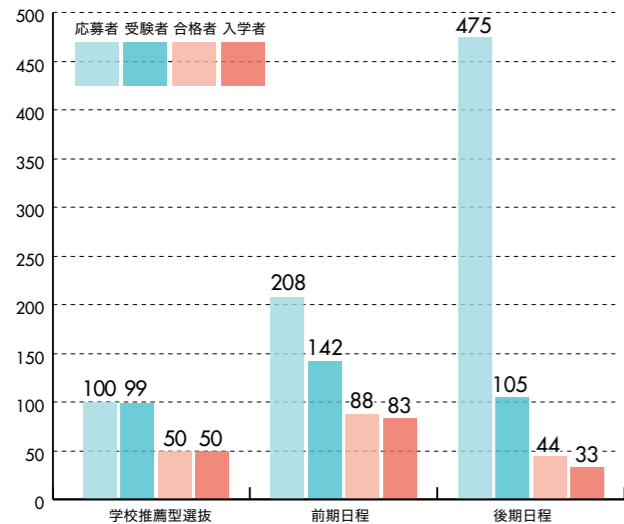
入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、次の入試を行います。（詳細は募集要項等で発表します。）

学校推薦型選抜
募集人員 / 50人

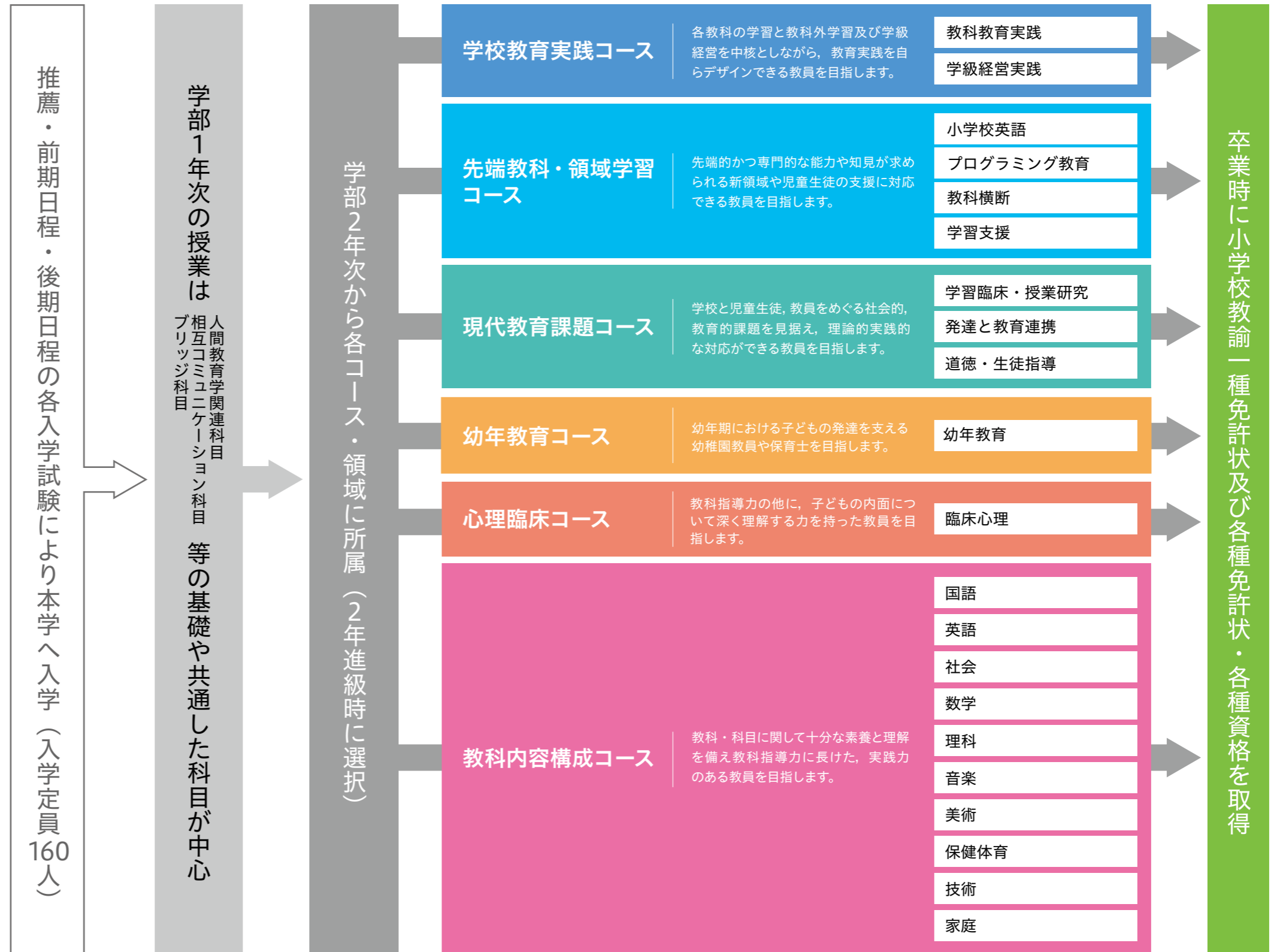
一般選抜
〈前期日程〉
募集人員 / 77人

〈後期日程〉
募集人員 / 33人

令和4年度入学者選抜状況



入学～在学～卒業までの流れ



コース・領域の紹介

教職に
求められる力を
バランスよく学ぶ

学校教育実践コース

教科教育実践 学級経営実践

指導力の高い教師は、自分のよさや強みを伸ばしつつ、教職に求められる力をバランスよく持っています。本コースでは、自分の理想とする教師像を学びを通して描き、そのために必要な専門性を身に付けることを目指します。

教師には、さまざまな能力が求められます。教科の内容や教材などについて深い知識を持ち、質の高い授業ができることは勿論ですが、子どもたちにとってよりよい学びの環境をつくる学級経営をする力も必要です。また、教室で起こるできごとを正確にとらえ、すぐさま適切に対応する力、子どもの気持ちや行動の意味を理解し、寄り添う力、子どもの置かれた社会の状況についてきちんと理解していることなど、多面的で総合的な力を備えている必要があります。

その一方で、教師という仕事は一人でやるものではなく、同僚の教師たちと一緒に授業や行事を運営したり、保護者や地域の人々と協力して子どもの健全育成に取り組んだりなど、さまざまな人々と協同して行う仕事です。豊かなコミュニケーション力や、多様な人々と協力する力も求められます。

これらの力を身につけるには、大学で多くの知識や技能を学ぶだけではなく、学校現場に実際に関わることが大切です。そのため、学校教育実践コースでは、学校現場に実際に足を運び、そこで起きていることに学びながら、教職で求められる多面的で総合的な力を身につけていきます。

また、教職大学院と連携し、学部の学生とは立場の異なる大学院生と共に学ぶ機会を設けています。それによって、さまざまな人々と協力する力も高めていくことができます。

学校教育実践コースは、このような特色あるカリキュラムを通して、よりよい教育を実現する力、つまり、実践力を身に付けることができます。指導力の高い教師を目指して共に学びませんか。

4つの領域で
高める
新しい教育課題
への対応力

先端教科・領域学習コース

小学校英語 プログラミング教育 教科横断 学習支援

先端教科・領域学習コースは、『小学校英語』、『プログラミング教育』、『教科横断』、『学習支援』の4つの領域で構成されています。『小学校英語』では、小学校を中心に、中学校・高等学校において実践的な英語の指導を行うことのできる教員の養成を目指します。『プログラミング教育』では、各教科の授業力と児童生徒と関わる力を高めながら、プログラミング教育を通して、幅広い学校課題に対応することができる教員の養成を目指します。『教科横断』では、異なる教科間での連携・横断や小・中・高などの校種間の接続を考えながら、指導法の研究や教材の開発を行うことのできる教員の養成を目指します。『学習支援』では、特別支援教育の目的や意義について理解し、個々の児童生徒の実態を踏まえた各教科等の指導や教職員等と連携した指導ができ、互いの特徴を認め合い支え合う学級づくりができる教員の養成を目指します。4つの領域を相互に関連させながら、総合的かつ網羅的に学ぶことができます。



子どもの
世界が広がる
学習の
あり方を学ぶ

現代教育課題コース

学習臨床・授業研究

『学習臨床・授業研究』では、子どもの学習場面に臨み、学ぶ過程を適切に把握することを通して、子どもが自己を確立し表現できるような教育活動を展開する授業を研究し、自らカリキュラムを創造し改善できる教員の養成を目指します。

学校の多くの時間は、“学習”へとあてられます。学習のあり方を追求することは、子どもたちの新たな世界の広がりや成長の可能性を見いだすことにつながります。

領域での科目や卒業研究では、実際に子どもと関わりをもって、多様な学習の実現のあり方を学びます。アクティブ・ラーニングやICTを活用した子どもの学びの質を高める学習デザインや総合学習、SDGs、国際理解、自然環境などに関する専門知と実践知を修得し、カリキュラム・マネジメントのできる資質・能力が身に付きまます。全ての学習活動の基礎となる、主体的・対話的で深い学びに向かう、子どもの人間性を育む教育実践を展開できる教員への成長を支援します。



子どもの発達と
未来を見据えて
教育システムを
デザインする

現代教育課題コース

発達と教育連携

現代の教育が抱える複雑な課題の解決のためには、人間の成長・発達や教育という営みに関する根本的な知識・理解が必要です。加えて、科学的で実践的な課題探究の方法と態度の修得も重要です。これらについて『発達と教育連携』では、教育学や心理学の立場から、以下の3つの観点に立ち、連携・協働して問題解決にあたる力や教育実践力を身につけることを目指します。

(1) 認知的・社会的発達や学習プロセス、それを支える多様な人間関係など、子どもたちの心を多角的に探究し、発達と学習を適切に援助していくための理論と方法を学びます。

(2) 学級内における教師や子どもの人間関係、学校の雰囲気や風土、学校と家庭や地域との関係、社会環境と子どもの歴史的な変容などについて、科学的な研究手法を通して学びます。

(3) 教育を支える組織的な活動や仕組み、教育に関わる法規や制度について学びながら、協働して取り組める教職員の養成を目指します。

教育問題を
多角的に
みつめる

現代教育課題コース

道徳・生徒指導



『道徳・生徒指導』では、学校教育場面に関わるあらゆる問題について多角的に考察を深め、教育実践に活かす予防的・開発的な手立てを具体的に探求します。学校教育における、今日的課題である①規範意識の向上や道徳性の育成、②社会的・職業的自立とキャリア発達、③育てる生徒指導、④いじめ問題の予防と対応、⑤個別対応と望ましい集団形成などについて、(1)道徳教育、(2)キャリア教育、(3)生徒指導、(4)学校教育相談、(5)特別活動等の視点から探求します。

子どもたちの
育ちと学びの
原点を探る

幼年教育コース

幼年教育

『幼年教育』では、幼年期の子どもの発達と、それを支える幼稚園・保育所・認定こども園の教育・保育、家庭教育や子育て支援等について学びます。

心身ともに著しく発達し、生活の場が急速に拡大するのが幼年期です。この時期の子どものさまざまな発達の様相やそれにふさわしい環境のあり方、就学前施設のカリキュラムや適切な援助の方法について学ぶとともに、この時期に生じている諸問題を見定め、どのように解決していったらよいのかを共に探求し、実践に移していきます。

本コースは幼年教育学、幼年心理学、保育内容、児童福祉の研究領域で構成されています。理論と実践の両面から幼年期の子どもやこの時期の教育・保育の実態を総合的、共同的に学び合うことを通して、保護者や地域、諸学校と連携しながら実践の質を高め、子どもの望ましい発達を支えていく教育・保育の優れた担い手を養成します。

『こころ』の
問題を理解し、
解決への支援を
学ぶ

心理臨床コース
臨床心理



現在の学校現場では、いじめ、不登校、ひきこもり、非行、虐待、発達障害など、子どもたちのこころに関するさまざまな状態に対応することが求められています。心理臨床コースでは、教科を教える力だけでなく、子どもたちのさまざまな生きづらさを理解し、解決できるように保護者への支援も含めて援助する心理療法の理論と技法について専門的に学ぶことができます。また、このような学校現場での教育相談や生徒指導に生かすことができる専門性を習得した教員になるだけでなく、公認心理師の国家資格に必要な学部での必須科目も受講できるようになっています。

日本語と、
ことばそのもの
への理解を深める

教科内容構成コース
国語

私たちは日本語をもちいて、表現し理解し、伝達し合っています。国語はすべての学びの基礎であると同時に、それ自体が大切な文化であるといえます。『国語』では、次の専門領域にわたって学力を確実に身に付けるとともに、子どもたちのことばの学びが生き生きとして、また深いものであるよう導く力を養います。

〔国語学〕では、共通語から方言、古典に至る様々な日本語を取り上げて、日本語の音声や語彙、文法、文体を分析し、ことばそのものへの理解を深めます。〔国文学〕では、古典文学や近代文学の講読や演習を通じて、作品世界を深く理解する方法や文学を学ぶことの意味や意義、体系について修得します。〔書写書道〕では、筆記具の持ち方から、筆順を覚える理由、整った字のための規則などを学び、子どもたちが楽しく字が書けることを目指します。〔国語科教育〕では、近年の教育課題に検討を加えながら、国語科の目標・内容・方法、教材研究・開発のあり方について学び、授業実践力を育成します。



さまざまな
『数学』を
発展させ、
教育に生かす
方法を学ぶ

教科内容構成コース
数学

『数学』は、数学や数学的な考え方に興味をもち、それを発展させて、教育に生かしてみたいと思う人のためにあります。小学校の算数教育の中心的な存在になれるような教員の養成、中学校及び高等学校の数学科を担当できる教員を養成することを目的としています。『数学』には、代数学、幾何学、解析学、確率論・統計学、コンピュータ、数学教育学の6つの領域があります。代数学、幾何学、解析学、確率論・統計学の領域では、それぞれに対応する現代数学の初歩的内容とその基本的な考え方を講義します。コンピュータの領域では、初歩的なプログラミングの実習を行い、コンピュータの仕組みやその限界について体験的に学ぶ機会を提供します。数学教育学の領域では、教材分析や授業分析などを通して、その背景にある算数・数学教育の理論や指導法について講義します。これまで数多くの卒業生が、全国各地の小中高等学校の教員として活躍しています。

自然科学の
広い視野と
深い知識を
身につける

教科内容構成コース
理科



私たちは、自然科学について広い視野と深い知識を身につけ、将来学校で、子どもたちが意欲を持って楽しく学べる授業ができる先生、子どもたちを大切にはぐくむ先生を育てることを目指しています。大学2年で『理科』に所属すると、色々な授業や実験・観察が始まります。3年生になると、研究室に配属されます。「理科教育」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の5つの種類があります。3年生と4年生の2年間にわたってその研究室で卒業研究をします。この過程を通して、小中高等学校の理科の先生が身につける科学的リテラシーを学んでいきます。皆さんをお待ちしています。

英語「を」学び、
英語「で」教える
スキルを養う

教科内容構成コース
英語

小学校・中学校・高等学校における英語教育の実践力を養うために、英語によるコミュニケーション能力を育成するとともに、理論的・実践的な研究指導を行います。英語科教育では、英語科教育の理論と方法、実践的な英語コミュニケーションなどについて、多角的な視点から学びます。小学校英語教育では、外国語活動・外国語科について発達段階に対応した授業設計・実践・改善方法等について学びます。CLIL（内容言語統合型学習）等の最近の指導理論についても学びます。英語学では、英語の音声や文法について基本的事項を学習する授業や、英語または第二言語英語の個別のテーマについて掘り下げて検討を行う授業があります。異文化コミュニケーションでは、会話等のインタラクションについて学び、多文化共生を支援し、異文化間コミュニケーション能力の育成を目指しています。また、英語文学の授業では、英語文化圏における小説などを楽しむことができます。英語や異文化に興味を持ち、学習意欲の旺盛な人を歓迎します。

社会科授業に
必要な、様々な
研究・教育を学ぶ

教科内容構成コース
社会



社会科（地理歴史科・公民科）の授業に必要な、人文科学・社会科学・自然科学及び社会科教育（地理教育・歴史教育・公民教育）の諸領域について、それぞれの専門性を維持しつつ学際性にも十分留意した研究・教育を行います。とりわけ（1）社会認識の地理的多様性を認識しつつその歴史の変遷の軌跡をたどり、（2）社会構造の解明にとりくみ、（3）これら研究成果と教育実践の有機的な関連づけを目指します。2年次から地理学、歴史学、法学、政治学、経済学、社会学、哲学、倫理学、宗教学、社会科教育の授業を履修、3年次以降は各専門セミナーに所属、きめの細かい指導をうけ卒業論文を作成します。野外実習である地域調査法（地理学、歴史学）の開講、学内外での学校現場の社会科の先生らと連携した研究・教育活動が活発なことも特徴です。学生たちは小学校免許に加え中学校の社会、高等学校の地理歴史科・公民科の免許も取得し、卒業後、社会科という幅広い教科教育実践を得意とする学校教師として活躍しています。

音楽の実技・
理論の両面を
専門的に学ぶ

教科内容構成コース
音楽

『音楽』には、声楽、器楽、作曲、音楽学、音楽科教育についての授業があります。具体的には、ソルフェージュ、指揮法、合奏、合唱、作曲、声楽、音楽史、ピアノ・管楽器の基礎や表現法を学ぶ授業、日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽と文化について学ぶ授業、初等・中等音楽科指導法などの講義や演習が開講されています。様々な専門の教員による指導体制が充実しているので、音楽の実技・理論の両面にわたって、専門的に学ぶことができます。実践セミナーでは、大学院生と合同で、音楽教育にかかわる幅広いテーマを実践的に学んでいます。合唱のような、学年を超えての合同の授業、箏、三味線、尺八、篠笛、太鼓など各種楽器や、バリ・ガムランのセットを使っての授業があります。3・4年次の専門セミナーの授業では、学生の希望するテーマに即して研究の場が提供され、これらは卒業演奏会や卒業論文へと発展します。音楽劇創作演習では、4年生による自作自演の音楽劇を上演しています。

様々な
表現方法を学び、
子どもたちの
学習に生かす

教科内容構成コース
美術



『美術』では、創造することの楽しさや、人と人のかかわりにおける美術の役割について学ぶことができます。きめ細やかな指導と充実した施設・設備により、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史・美術理論の専門領域と美術科教育を通して、学生自身が様々な表現方法を身に付けながらその意義を理解し、子どもたちのための教材開発、指導方法を学んでいきます。小学校などで子どもたちとかわる造形活動や大学での授業はもちろん、美術館での作品鑑賞、作家や工房を訪れる研修、ワークショップなど、地域と連携した活動や海外大学との国際交流も行っています。

運動を通し、
子どもたちの
健康と成長を促す

教科内容構成コース
保健体育

『保健体育』は、将来、小学校における体育指導の中心的存在として、あるいは、中学校または高等学校の保健・体育教科を担当できる専門的資質をもった教員の育成を目指しています。

児童・生徒の活発な屋内外の遊びや運動は、運動能力、体力、体格の発達を促し、健康の保持増進に資するとともに、人間的な成長にとって極めて大切な情緒の安定、自己統制力、他者を理解し思いやる心などを育むことと深い関わりがあります。児童・生徒の人間的な成長や発達、人々の健康の保持増進を願う指導者にとって重要となる課題は、健康や運動についての正しい理解と適切な方法を修得し、実際の指導に結びつけていくことです。

『保健体育』では、「体操・器械運動」「水泳」「武道」「運動学」「体育心理学」「解剖生理学」「学校保健」「中等保健体育科指導法」「専門セミナー」などの専門科目の学修や研究を通して、学術的な運動の原理、健康の意味、体育の指導について理解を深めることができます。

技術を生かす
力を持った
生徒を育てられる
教員に

教科内容構成コース
技術



『技術』では、生活に役立つ製品の設計・製作、コンピュータやネットワークの基本的構成、プログラミング技術を身につけ、それらを生活や社会に生かせる能力を持った生徒を育てる教員の養成を目指します。この目標のため、『技術』では、技術科教育学、木材加工学、金属加工学、電子・電気工学、機械工学、コンピュータ科学、栽培学（生物育成の技術）の学問領域に関して授業科目を用意しています。さらに、3年次から専門セミナーを受講し、専門的な知識を身に付け、卒業研究に取り組むことで実践力を養います。

人の生活に
関わる様々な
事柄を学ぶ

教科内容構成コース
家庭

『家庭』では、生活について自然・社会・人文科学の立場から総合的に学び、社会環境の変化に伴う複合的な生活問題に対応・解決できる専門的資質・能力をもった持続可能な社会の創り手を育成することを目指しています。

具体的には、家族関係学、生活経営学、保育学、被服学、食物学、家庭科教育学などを学び、専門セミナーでは授業で学んだことを総合化する力をみかくとともに専門的な知識・技能を深め、卒業研究につながるよう各々の課題に取り組みます。

「主体的・対話的で深い学び」が求められる今の教育現場では、その典型ともいえる家庭科の授業を魅力的・学術的に展開できる教員が強く望まれています。また、『家庭』で身につけた確かな学力は、家庭科の授業のみならず、教科横断的授業を進める際にもいかに発揮されることでしょう。『家庭』は、人の生活にかかわる様々なことからや問題に興味と関心をもち、「学びたい」という意欲のある学生にとっては最適な教育・研究の場です。

卒業後の教員就職率

87.9%

国立の教員養成大学・学部
(44大学・学部)の中で

全国第1位!



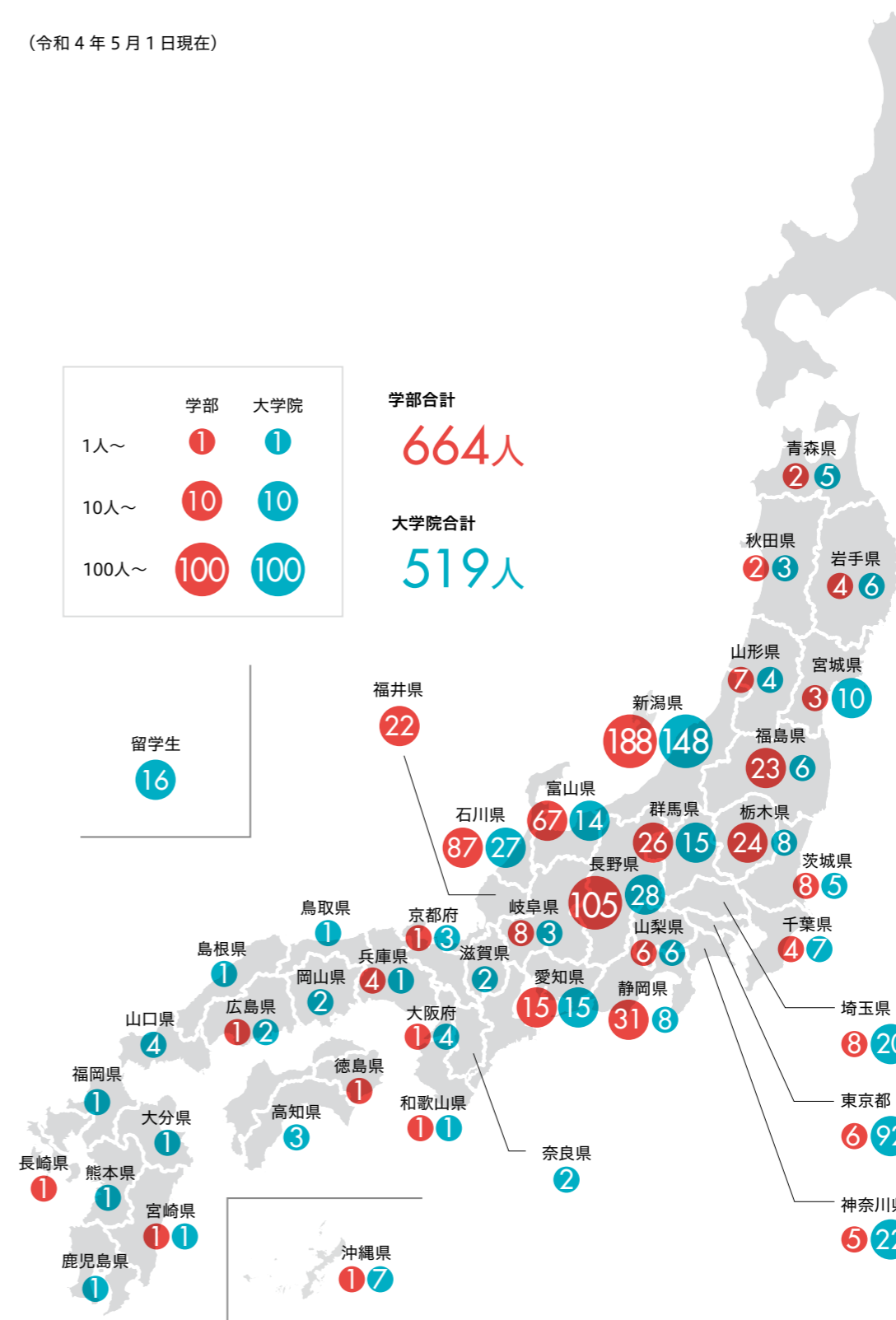
他、公務員・企業等・・・
大学院への進学も!
詳しくは、p.23を参照 →

出身都道府県別 在学者数

(令和4年5月1日現在)

	学部	大学院
1人～	1	1
10人～	10	10
100人～	100	100

学部合計
664人
大学院合計
519人



カリキュラム(特色のある教育課程)

1 人間教育学関連科目

人間教育学セミナー、実践的人間理解科目、基礎的人間形成科目

教員の原点である人間理解を体験的に深めると同時に、その理解を自然・社会・異文化・生活の各領域の視点から捉えていきます。

2 相互コミュニケーション科目

情報、表現

子どもの学習活動を、言語・芸術・情報などのメディアを通じた表現やコミュニケーションから理解し、その具体的な支援の方法を学びます。

3 ブリッジ科目

専門領域に関する高等学校教育との橋渡し、並びに専門教育への橋渡しをします。

4 教育実践科目

各教科の指導法、ガイダンス、教育実習

実践的指導力を向上させるため、教職関連の実習関係科目を重視し、各教科に関する指導法、生徒指導の方法を学びます。

5 特色教育科目

本学が取り組んでいる特色ある教育を広く紹介し、未来の学校教育に対する確かな展望の形成を目指します。

6 教職実践演習科目

教員として必要な知識技能を修得したことを確認します。

7 専門科目

専門科目、専門セミナー

現代社会の複雑な諸課題に立ち向かうための総合的な問題解決能力、及び教育場面における応用力を養います。

8 卒業研究

コース・領域の専門科目に関する修業を集約発展させて、その成果をまとめます。

卒業要件と取得できる免許状・資格

卒業要件の133単位を修得することによって、全学生が学士(教育学)の学位を受けるほか、小学校教諭一種免許状を取得できます。(幼年教育コースに所属する学生の場合には、幼稚園教諭一種免許状も合わせて取得できます。)その上に所要の単位を修得することによって、幼稚園教諭の一種又は二種の免許状、もしくは特定教科の中学校教諭の一種又は二種の免許状、さらに高等学校教諭の一種免許状を選択して取得することができます。(ただし、授業時間割の制約上、希望する免許状が取得できないこともあります。)

● 卒業要件に含まれる免許状

小学校教諭一種免許状
幼稚園教諭一種免許状(幼年教育コース)

● 履修の仕方によって取得可能な免許状

幼稚園教諭一種免許状
中学校教諭一種免許状(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語)
高等学校教諭一種免許状(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、保健、家庭、情報、英語)

● 履修の仕方によって取得可能な資格

「保育士」

養成定員20人の指定保育士養成施設として認可されており、保育実習を含む定められた科目を73単位以上修得することで、保育士となる資格が得られます。

保育士資格を取得できる学生は、幼児教育を学ぶ意志があり、かつ、幼稚園教諭一種免許状の取得を希望する学生で、1学年20人までです。申請者が20人を超えた場合は、別途筆記試験を行い選考します。なお、保育実習に係る交通費は学生の自己負担となります。

「学校図書館司書教諭」

文部科学省令で定められた資格取得に必要な5科目10単位を開講しています。

「公認心理師」

本学では、公認心理師試験の受験資格取得のため、大学において必要な科目(51単位)を履修することができます。ただし、一部の科目には履修条件があります。

なお、公認心理師試験の受験には、本学卒業後に、さらに本学大学院などの公認心理師となるために必要な科目が履修できる大学院において科目を履修する必要があります。

● 卒業・免許状要件単位数

区分	学校教育専修									
	右記以外のコース						幼年教育コース			
	卒業小1	幼2	幼1	中2	中1	高1	卒業小1幼1	中2	中1	高1
人間教育学関連科目	人間教育学セミナー	2					2			
	実践的人間理解科目	15					15			
	基礎的人間形成科目	20	+6	+12			32			
相互コミュニケーション科目	7						7			
ブリッジ科目	20						20			
教育実践科目	31	+2	+2	+5	+5	+5	33	+5	+5	+5
特色教育科目	4						4			
教職実践演習科目	2						2			
専門科目	28			+12	+28	+24	14	+12	+28	+24
卒業研究	4						4			
合計	133	141	147	150	166	162	133	150	166	162

(注) 中2・中1・高1は、各教科の必修科目の設定や、所属コースの違いなどによって増減します。

少人数教育のシステムとクラス制度

学生と教員及び学生相互間の人間的交流を深めること、学生生活の充実を図ることなどを目的として、1年次では学籍番号に基づいたクラス(1クラス10人程度)を、2年次以降では、コース・領域別にクラスを編成しています。

また、各クラスにはクラス担当教員を置き、学生の修学やその他学生生活全般について適切な指導助言を行っています。少人数による教育を通して、学生と教員とのコミュニケーションが図られています。

副専攻プログラム

(1) 小学校英語副専攻プログラム

グローバル化の進展を遂げる社会に生きる子どもたちの学習を支えることができる教員の育成を図るため、小学校における外国語活動(中学年)と外国語科(高学年)を担当する上で必要となる基本的知識と技能の修得を目指します。

(2) 小学校プログラミング・テクノロジー副専攻プログラム

人工知能(AI)がさらなる飛躍的な進化を遂げる社会に生きる子どもたちの学習を支えることができる教員の育成を図るため、小学校などで活用されるプログラミング領域、情報及び技術などプログラミング言語に関する高度な知識と技能を実践を通して修得することを目指します。

学部・大学院接続推進(大学院授業科目早期履修)プログラム

6年一貫教育プログラムを置き、大学院専門職学位課程(教職大学院)に進学を志望する学業優秀な学部学生に対して、本学大学院教育課程の授業科目を履修する機会を提供し、大学院教育との連携を図っています。

なお、今後の教育組織の変更等により進学先である大学院の専攻・コースなどが変更される場合があります。



教育実習の重視

教育実習を1年次から4年次まで体系的に実施しています。

1年次の教育実地研究Ⅰ（観察・参加）では、学校種による子どもの発達や教育活動全般の特性を理解します。2年次の教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）では、初等教育実習に向く前の最終的な確認などを行います。3年次の教育実地研究Ⅲ（初等教育実習）では、教科指導や学級経営、特別活動などの実習を通じて、実践的指導力の基礎を培います。4年次では、教育実地研究Ⅳ（中等教育実習）や総合インターンシップなどの実習を選択することができます。

教育実習は附属学校園（上越市）のほか、上越市、妙高市、糸魚川市、柏崎市等の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校（計122校園（令和4年4月現在））から連携協力を受けており、学生は大学の指定する学校園で教育実習を行うことになります。

大学所在地から、実習校園までの距離は、指定された学校園毎に様々です。遠方の学校園までは、上越市内で30km、妙高市内で35km、糸魚川市内及び柏崎市内で45kmの距離があり、公共交通機関などを利用していただくことになります。教育実習に係る交通費等及び教育実習のための教科書（教育実習ハンドブック）の購入は学生の自己負担となります。



2年次の教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）の様子



3年次の教育実地研究Ⅲ（初等教育実習）の様子

教育実習（教育実地研究）の流れ

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
科目名	教育実地研究Ⅰ （観察・参加）	教育実地研究Ⅱ （授業基礎研究）	教育実地研究Ⅲ （初等教育実習）	教育実地研究Ⅳ （中等教育実習）
内容	幼稚園・小学校・ 中学校等を訪問、 教育活動を観察	模擬授業、 発問・板書のしかた 等	小学校教育実習 （5月1週間、9月3週間）	中学校教育実習（選択）
実習校等	●大学 事前・事後指導 ●附属幼稚園、協力校園	●大学	●大学 事前・事後指導 ●附属小学校、協力校	●大学 事前・事後指導 ●附属中学校、協力校

分離方式教育実習

5月に観察実習を1週間
行い、4カ月の研究期間
において、9月から3週間
の本実習を行います。

5月

1週間
観察実習

研究期間

- ・児童理解を深める。
- ・教材研究をする。
- ・指導案を作成する。
- ・実習校指導員の指導を受ける。など

9月

3週間
本実習

ボランティア活動の授業化

近年、教育職員免許状を取得する上で、ボランティアへの取組が重視されてきています。本学では、こうした動きに先駆けて、学生の社会教育施設における「ボランティア体験」（1年次）をいち早く授業化しました。

さらに、必修科目として「学校ボランティアA（学校支援体験）」（2年次）を開設し、3年次で行われる「初等教育実習」前に、学校現場でのボランティア活動に取り組みようカリキュラムを編成しています。

また、「初等教育実習」後、さらに学校現場での学びを深めるために実習校等でボランティアを行う「学校ボランティアB（学校支援体験）」（3年次）や「総合インターンシップ」（4年次）で長期にわたって学校現場に入ること、さまざまな子どもたちに関わり、一人一人に応じた指導や取組を学んだり、教職員の子どもへの関わり方から学んだりすることができるようにしています。

こうした教育施設や学校現場へのボランティアを通して、子どもや教職員、教育に携わる地域の方などから学びを深め、教員として求められる社会性やコミュニケーション能力を高めていきます。

学校実習・ボランティア支援室

教育実習、学校実習（大学院）及び学生の各種ボランティア活動を円滑に実施するための支援・危機管理等を行うことを目的として、従来の学校ボランティア支援室を改組・拡充し、平成31年度に設置しました。小中学校をはじめ、多様な機関や施設とつながりを持ち、活動を支援しています。

主な役割

- 教育実習・学校実習の支援
- 授業科目として位置づけられた講座を履修する学生の支援
- 授業科目以外の教育的なボランティアに関する相談とコーディネーター活動の推進
- 被災地ボランティア活動への支援
- その他のボランティア情報の掲示
- 参考図書や教科書などの貸出



上越教育大学のボランティア

【選択授業科目】1年 ボランティア体験

さまざまな教育機関でボランティアを体験しながら、計画・運営がどのようになされているのか、子どもとの関わりはどのようにしていけばよいのかなどを学びます。
<受入機関>
謙信KIDSプロジェクト、わくわくランドあり、青少年自然の家など



【必修授業科目】2年 学校ボランティアA

大学近隣の小中学校5校で、年間15時間以上のボランティアを体験します。子どもとのコミュニケーション能力を向上させるとともに学校現場の実際やインクルーシブな教育の理解を深めていきます。
<受入校>
上越市内の小・中学校 5校



【選択授業科目】3年 学校ボランティアB

初等教育実習後、さらに学びを深めるために15時間以上のボランティアを実習校等で行います。現場の先生方の補助的な業務を行い、教員という仕事の実感をより深く学びます。
<受入校>
教育実習が行われている上越市、妙高市、糸魚川市の小学校



【選択授業科目】4年 総合インターンシップ

教育実習を終えた4年生が、さらに実践的指導力を身に付けるために、長期にわたって実習を行います。学生は、様々な業務に携わることで、教師に必要な力を高めていきます。
<受入校>
教育実習が行われている上越市、妙高市、糸魚川市の学校



学部生、院生 教育ボランティア

大学での授業科目以外に、学生が意欲をもって行う教育的なボランティア

小中学校、特別支援学校をはじめ、教育機関からさまざまなボランティアの要請が来ます。また教育実習後に実習校から手伝いをお願いされることも多いです。自分がやりたいボランティアを見つけ、自分の力を高めていきます。
<活動例>
授業や放課後学習の学習支援、個別学習支援、行事の補助、作業や事務などの先生の仕事の補助、校内の除菌作業、部活動の補助



「海外教育研究」の実施

外国での短期間の生活を通じて、その国の教育の実態及びその背景をなす文化に直接触れさせ、自国とは異なる教育の制度・内容の理解の深化を図り、教育者として必要とされる広い視野や高い識見及び豊かな人間性の育成を目的として、授業科目「海外教育研究」を開設しています。

オーストラリア、アメリカ、韓国、台湾の協定大学などの協力を得て、現地の小学校及び中学校などの授業参観及び授業実践を行うほか、現地学生などとの交流を行っています。



海外教育研究 D (台湾) オンライン実施

海外交流協定校

海外の9つの国・地域の12大学等と交流協定を締結し、授業科目「海外教育研究」、国際学生プログラム、留学などによる学生交流や、共同研究などによる研究者交流を行っています。

留学生交流・地域支援

中国を始めとしたアジアの国々や欧州、アメリカ、アフリカ等から多くの留学生を受け入れており、留学生と日本人学生が交流できるような様々な行事を実施しています。

また、「外国につながる子どもたち」への修学支援事業として、外国にルーツのある児童生徒に対し、学習の支援を行っています。



留学生スキーのつどい



在学中の保険と相談窓口

学生教育研究災害傷害保険 (略称「学研災」)

この保険は、学生が大学の正課中、学校行事中、課外活動中又は大学施設内において生じた事故及び通学中又は学校施設など相互間の移動中に生じた事故により、身体に傷害を被った場合に保険金が支給される互助共済制度であり、本学では入学と同時に全員が加入(4年間)します。

学生教育研究賠償責任保険 (略称「学研賠」)

この保険は、大学における正課、学校行事、大学が教育活動の一環として位置づけるインターンシップ・介護体験活動・ボランティア活動を行う際に、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度であり、本学では入学と同時に全員が加入(4年間)します。

学生相談

教員が学生からの相談を受け付ける時間を定めたり、クラス制度を設けて各クラスに担当教員を配置するなど学生相談の充実に努めています。

また、学生からのさまざまな相談に応じたり、仲介したりする「なんでも相談窓口」も学生支援課にあります。

その他

- (1) 学生証は、I・Dカードとして、附属図書館の入館・貸出や証明書・学割証の発行などに使用したり、大会館内の食堂・売店などの利用料金を各自の口座から自動振替により支払うことに使用できます。
- (2) 受動喫煙を防止し、学生及び教職員などの健康を守るため、また、公立学校などにおける敷地内全面禁煙の実施状況を踏まえ、将来教育現場に就職することとなる学生に対し、在学中に喫煙習慣を持たせないための環境を整備するため、キャンパス内全面禁煙としています。



納付金と奨学金

納付金

大学に納める経費は、次のとおりです。

入学金 282,000円（入学手続き時に納めてください。）

授業料 535,800円（年額）

前期分 267,900円 後期分 267,900円

代行納付（口座振替）による納付となります。なお、入学金及び授業料の金額は、令和4年度入学者の金額であり、今後改定される場合があります。また、在学中に授業料改定が行われた場合は、新授業料が適用されます。

高等教育の修学支援新制度

修学支援新制度では、学部学生のうち、学ぶ意欲のある学生であり、かつ住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の者は、授業料等の減免及び給付型奨学金の給付をセットで受けることができます。

入学金の免除など

入学前1年以内の学費負担者死亡、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害などの災害を受けたことなどのため入学金の納付が著しく困難であると認められる場合に、願い出により、選考の上、入学金の全額又は半額を免除する制度があります。

上記の事由のほか、経済的理由により納付期限までに入学金の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合に、願い出により、選考の上、入学金を徴収猶予する制度があります。

授業料の免除など

入学前1年以内に学費負担者の死亡などのため授業料の納付が著しく困難であると認められる場合に、願い出により、選考の上、全額又は半額の免除及び徴収猶予する制度があります。

奨学金（上越教育大学くびきの奨学金）

本学創立30周年記念事業において寄せられた寄附金、上越地域住民が会員となっている「上越教育大学振興協力会」からの寄附金及び上越教育大学の同窓会からの寄附金を主な財源に平成21年度から創設された本学独自の奨学金（返済不要）です。

なお、半期ごとに学内選考を行い、以下の給付額が支給されます。

学部学生、大学院学生 前期・後期各 80,000円

貸与奨学金（日本学生支援機構）

人物・学業成績とも特に優秀で、経済的理由のため著しく修学困難な者については、所定の手続きを経て奨学金が貸与される制度を利用することができます。

区分	奨学金の種類／貸与月額	
	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（有利子）
自宅通学	20,000円, 30,000円, 45,000円	20,000円～ 120,000円
自宅外通学	20,000円, 30,000円, 40,000円, 51,000円	のうち 10,000円単位

大学院（専門職学位課程・修士課程及び博士課程）との関連

上越教育大学には、学部のほかに「大学院学校教育研究科（専門職学位課程及び修士課程）」が設置されています。また本学は、兵庫教育大学を基幹大学とした「大学院連合学校教育学研究科（博士課程）」の構成大学となっています。したがって、学部卒業後さらに高度な専門教育を受けたい学生は、入学試験を経て、大学院専門職学位課程又は修士課程へ、さらには博士課程へと進学することができます。

本学の大学院専門職学位課程及び修士課程は、「教員に開かれた大学院」として現職教員を多数受け入れており、学部学生とも様々な機会を通じて交流があります。こうした交流の中で、より実践的な視点から教育に関する情報交換ができることも、本学の大きな特徴です。

大学院学校教育研究科

目的

主として、初等中等教育の場において教育研究を創造的に推し進めることのできる能力と実践的指導力を備えた有為の教育者を養成することを目的としています。

大学院学生の中には、都道府県教育委員会から研修のために派遣された教員や、大学院修学休業制度・自己啓発等休業制度を利用した教員など多くの現職教員が修学しています。

また、教育職員免許状を新たに取得できるプログラムを設けており、社会人や教員養成系以外の学部出身者も多く修学しています。

組織図

課程	専攻	コース	入学定員
専門職学位課程 （教職大学院課程）	教育実践高度化専攻	学校教育実践研究コース 教科教育・教科複合実践研究コース 発達支援教育実践研究コース	190人
修士課程	教育支援高度化専攻	心理臨床研究コース	20人
合計			210人

教育課程

専門職学位課程の教育課程は、教職に求められる高度に専門的な力量の基礎となる学識と教養及び技能を体系的に身に付けるための「共通科目」、深い学識と教養をもとにして学校現場における実践を意味づけ、的確に判断する力量を身に付けるための「コース別選択科目」、教育現場の状況を的確に把握し、他の人々と協働しながら適切に対応する力量を、学校現場における実践を通して身に付けるための「実習科目」から編成されています。

修士課程の教育課程は、現代の教育と子どもの発達を俯瞰し、教育における多様なニーズに対応する際に必要な専門的力量的基礎となる学識と教養を身に付けるとともに教育における心理的援助ニーズに対応する際に必要となる心理臨床に関する高度な専門性を身に付けるための専門科目及び各自の研究テーマを具体化する専門セミナーで構成する「専攻科目」から編成されています。

修了要件

専門職学位課程の修了要件は、大学院に2年以上（1年制プログラムの場合は1年）在学し、46単位以上を修得し、かつ、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める専修免許状又は一種免許状取得に係る所要の単位を修得することです。（ただし、在留資格が「留学」となっている外国人学生は免許状取得に係る単位の修得は不要です。）

修士課程の修了要件は、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、さらに必要な研究指導を受けた上で、学位（修士）論文の審査及び試験に合格することです。

学位及び教員免許状

専門職学位課程の修了者には、教職修士（専門職）の学位が、修士課程の修了者には、修士（教育学）の学位が授与されます。教員の一種免許状を有している学生は、所定の単位を修得することで、専修免許状が取得できます。



就職・進路

文部科学省が調査した「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の令和3年3月卒業者の就職状況等」において、本学の**教員就職率87.9%**(卒業生数から大学院進学者と保育士就職者を除く)は、全国の44大学・学部の中で、**第1位**でした。

プレイメントプラザ

プレイメントプラザ(Pプラ)は、就職・進路に関する相談や就職に関する各種資料を自由に閲覧でき、自学自習、学生同士の情報交換の場としても利用されています。

教員採用関係では、全国の公立学校教員採用試験に対応できるよう国内すべての自治体の実施要項及び過去の試験問題集、先輩の受験レポートなどを揃えています。また、公務員・保育士関係では、求人票のほか、参考書、過去問題集などの各種資料を揃えています。

教員採用試験学習支援システムは、教員採用試験に関する詳細な資料や各職種の求人情報の閲覧、教員採用試験対策講座のビデオ学習などが利用できます。



キャリアコーディネーター

Pプラには、就職・進路相談や就職指導を担当する特任教員のキャリアコーディネーター(公立学校の校長職経験者)がいます。経験豊かな学校教員の立場から、論作文・自己PR文の添削指導や模擬面接(個人・集団面接、集団討論など)の指導など、学生一人ひとりに合わせた個別指導により就職試験対策をサポートします。



就職支援 教員採用試験対策講座等

教員採用試験対策講座

教員採用試験に臨むための心構え、学習方法から、教職教養、一般教養などの筆記試験対策まで、段階に応じた対策講座を開講しています。

直前実技指導

教員採用試験で課されている実技検査対策として、体育分野の各種目、音楽実技、理科実験等について教員採用試験の直前指導を行っています。

模擬面接指導

面接試験は受験者の言動及び態度を通じて、直接的に知識、性格特性、適格性、価値観、人生観などを総合的に評価するものです。キャリアコーディネーターの指導を繰り返し受けることにより、試験を突破する実力が身につきます。

就職試験激励会

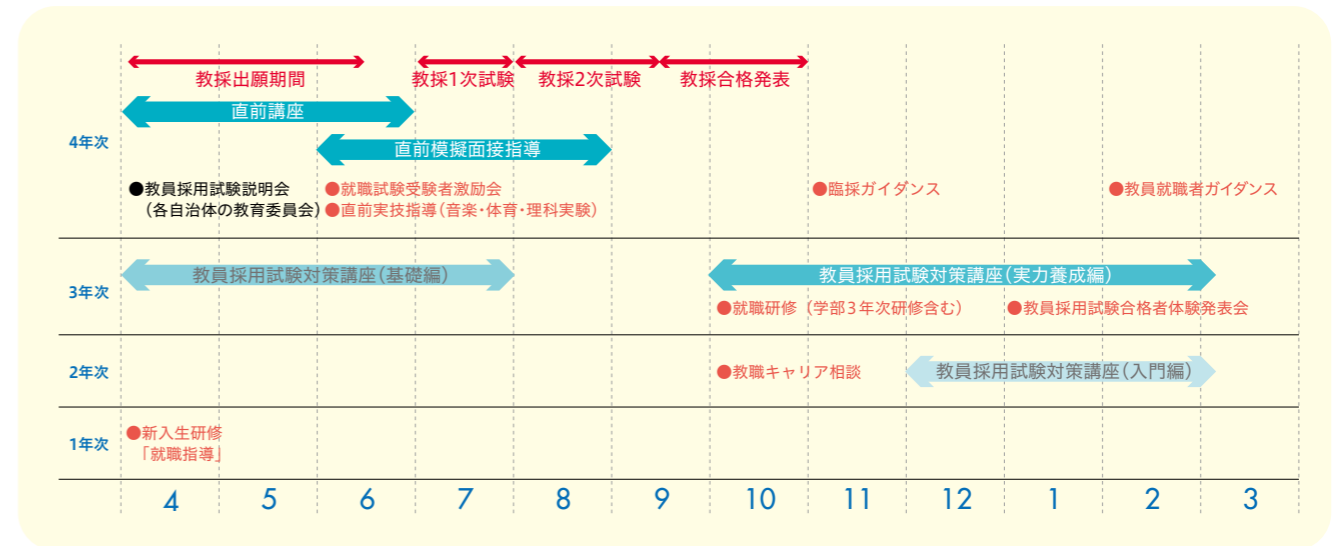
就職試験を受験する学生に対して受験の健闘を願い、受験に向けた準備をねがう大学主催の激励会を毎年実施しています。

教員採用試験対策スケジュール

教員志望の学生向けに、2年次から4年次の教員採用試験直前まで続く「教員採用試験対策講座」を開講しています。

教員採用試験問題に詳しい専門の講師の指導により、試験対策の必須事項や学習法を学び、教採試験合格を目指します。

また、4年次の5～6月には、大学教員による直前実技指導やキャリアコーディネーターによる直前模擬面接指導など個々の学生の志望に応じた支援を行っています。



就職状況

令和3年3月卒業生の就職状況

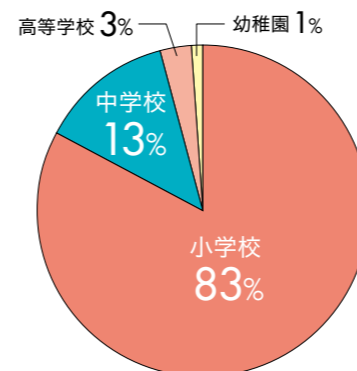
令和3年9月30日現在(単位:人)

区分	教員就職者							計	保育士	官公庁企業等	進学者	その他	合計	教員就職率 (※)
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園	幼保連携型認定こども園	その他							
初等教育教員養成課程	102 (14)	16 (9)	4 (3)	—	1	—	—	123 (26)	7	12	18	5	165	87.9%

「教員就職者」の()内の数は、期限付き教員として採用された人数で内数です。

※教員就職率は、卒業生数から進学者と保育士就職者を除いた数を母数とした教員就職者の割合を示します。

【教員就職者の内訳】



【都道府県別教員就職状況】

(単位:人)

校種	新潟	長野	石川	群馬	富山	福井	福島	東京	静岡	埼玉	愛知	北海道	宮城	茨城	千葉	岐阜	合計
小学校	32	17	11	5	8	7	5	2	4	3	1	2	1	1	1	1	102
中学校	2	5	3	4				1			1						16
高等学校			2				2										4
幼稚園等							1										1
合計	34	22	16	9	8	7	7	4	4	3	2	2	1	1	1	1	123

理想の先生をめざして!

学びのひろば

学びのひろばとは

「学びのひろば」では、近隣の小学校に通う子どもたちを年に5～6回大学や国立妙高青少年自然の家へ招き、レクリエーションや野外活動、工作、運動などの活動を行っています。その中で子どもたちが仲間とともに学ぶことの楽しさを感じ、新しい発見と挑戦の場として主体的に取り組んでいくことを目標としています。

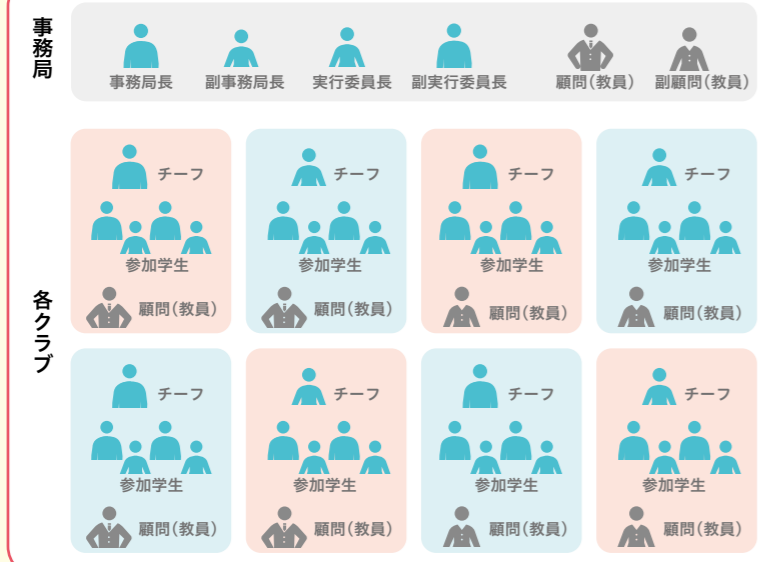
その企画・運営は、大学の教職員の支援を受け、全て学生が中心となり行っています。計画していく過程では学生同士が子どもたちとの関わり方や環境づくりについてよく話し合い、活動当日は直接子どもとふれあうなかで実践力を高めています。



上越教育大学



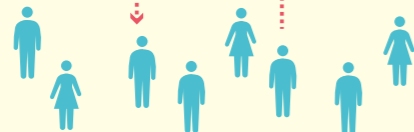
学びのひろば



1. 学びのひろば
ガイドンス

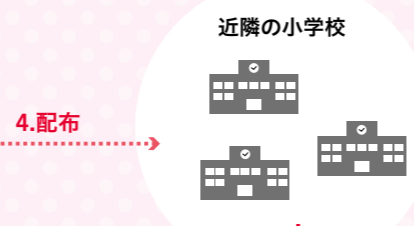
2. 参加希望

学部生



募集要項

3. 募集要項作成



4. 配布

おしらせ

5. 参加希望

6. 参加クラブの
決定・通知

対象の小学生

- **学びのひろばガイドンス**
学部生に学びのひろばのねらい、概要を説明し、参加学生を決定します。
- **学びのひろば募集要項配布**
概要・募集要項を作成し、上越市・妙高市内の小学校に配布します。
- **危機管理講習会・避難訓練**
学校現場における危機管理についての講演や、学内危険箇所の確認、緊急連絡体制の確認をします。
- **参加児童募集及び調整**
各児童の参加クラブを決定し、決定通知を発送します。
- **活動準備・リハーサル**
代表者会議、各クラブの話し合い、参加児童へのお便りを作成・発送します。

参加している先輩たち

上教大は実践的な活動の場が豊富という点が魅力で、「学びのひろば」はそのひとつです。事前に色々な準備や想定はするのですが、実際に子どもたちと接してみると、こちらの予想を超えるアイデアが子どもたちから出てきて驚かされることもあります。運営する学生側にとっても「学び」の多い活動だと思います。



2年 教科内容構成コース(社会)
塚原 敬太さん

私は部活動は吹奏楽部ですが、いろいろなことを経験してみたいと思い、「学びのひろば」では音楽系ではなく総合系のクラブに所属しています。ジャンルを定めず、運動、音楽、工作など、複合的に企画を考え運営するクラブです。クラスや部活動とはまた違った友人・先輩とのつながりができ、とても充実しています。





2年 幼年教育コース
村田 汐里さん

学びのひろばの様子



Campus Life

キャンパスカレンダー

前期 4月1日 ~ 9月30日	4月 ~ 6月	入学式／新入生オリエンテーション／前期授業開始／ 新入生研修(1年次)／履修登録期限／4年次中等教育実習／ 3年次初等教育実習(観察実習)／1年次観察・参加実習／就職試験受験者激励会	
	7月 ~ 9月	前期末試験／オープンキャンパス／保育実習Ⅱ／集中講義／夏期休業／保育実習Ⅲ・Ⅳ／ 3年次初等教育実習(本実習)／1年次観察・参加実習／1年次介護等の体験	
後期 10月1日 ~ 3月31日	10月 ~ 12月	創立記念日／後期授業開始／3年次研修／ 大学祭, ミニ・オープンキャンパス／冬期休業	
	1月 ~ 3月	卒業論文提出期限／後期末試験／集中講義／保育実習Ⅰ／ 課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修／春期休業／ 学位記授与式	

上教大生の1日

寺澤さんの一日

忙しいときもありますが、自由に使える時間が増えたと思います。興味が沸いたさまざまなことにチャレンジしています。車に乗るようになったらどこにでも自由に行けるようになりました!

平日	起床 7:00	講義 8:40	昼食 12:00	講義 13:00	部活 17:00	帰宅 19:00	就寝 23:30
休日	起床 7:00	アルバイト 11:00	昼食 12:00	帰宅 15:00			就寝 23:30

後藤さんの一日

塾のアルバイトで小・中学生の勉強を見ています。自分が何の専攻だろうと小・中学校の教科はきちんと解っていなければいけないので、少し緊張感があり、自分自身の勉強にもなっています。

平日	起床 7:00	講義 8:40	昼食 12:00	講義 13:00	部活 18:30	帰宅 21:00	就寝 23:00
休日	起床 7:00	部活 8:30	昼食 12:00	アルバイト 15:30	帰宅 19:00		就寝 23:00

課外活動

学生の人間形成の場として正課外の課外活動を重視しており、課外活動に対する支援・充実を積極的に図っています。課外活動団体として認定を受けた学生団体には、活発な活動が行えるよう、設備、備品などの利用について便宜が与えられ、本学の名称を冠して対外試合などにも参加することができます。

学部学生の約9割が課外活動団体に所属し、うち約5割の学生は複数の団体に所属しています。

課外活動に参加することにより様々な経験をし、様々な人たちと出会い、その中でかけがえのない仲間や、将来を考えるきっかけに出会えるなど、より充実した学生生活を送っています。

体育系

- ソフトテニス部
- ソフトボール部
- 男子バレーボール部
- 硬式テニス部
- 女子バレーボール部
- ハンドボール部
- 準硬式野球部
- 女子サッカー部
- 卓球部
- ラグビー部
- 剣道部
- アイスホッケー部
- 男子バスケットボール部
- 女子アイスホッケー部
- 女子バスケットボール部
- ストリートダンス部
- 陸上競技部
- セパタクロール部
- ワンダーフォーゲル部
- 男子ソフトボール部
- サッカー部
- 体操部
- 弓道部
- フラガール
- スキー部
- フットサル部
- バドミントン部

文化系

- 書道部
- 坐禅・不識会
- 上越アクティビティクリエイターズ(JAC)
- 茶道部
- すべしやるさんくす
- 手話研究会しゅわーる
- 多文化交流サークル(まるかる)
- 被災地ボランティア団体(ABJ)
- 子ども食堂スタッフサークル
- ボードゲームサークルLogica

芸術系

- モダン・ミュージック・ソサイエティ(MMS)
- 吹奏楽団
- 管弦楽団
- 混声合唱団
- アートワーク
- アカベラサークル(JADE)
- ヨリ・ミチ図工室

計44団体

令和4年5月1日現在



Campus Map

- ①本部事務局
- ②講堂

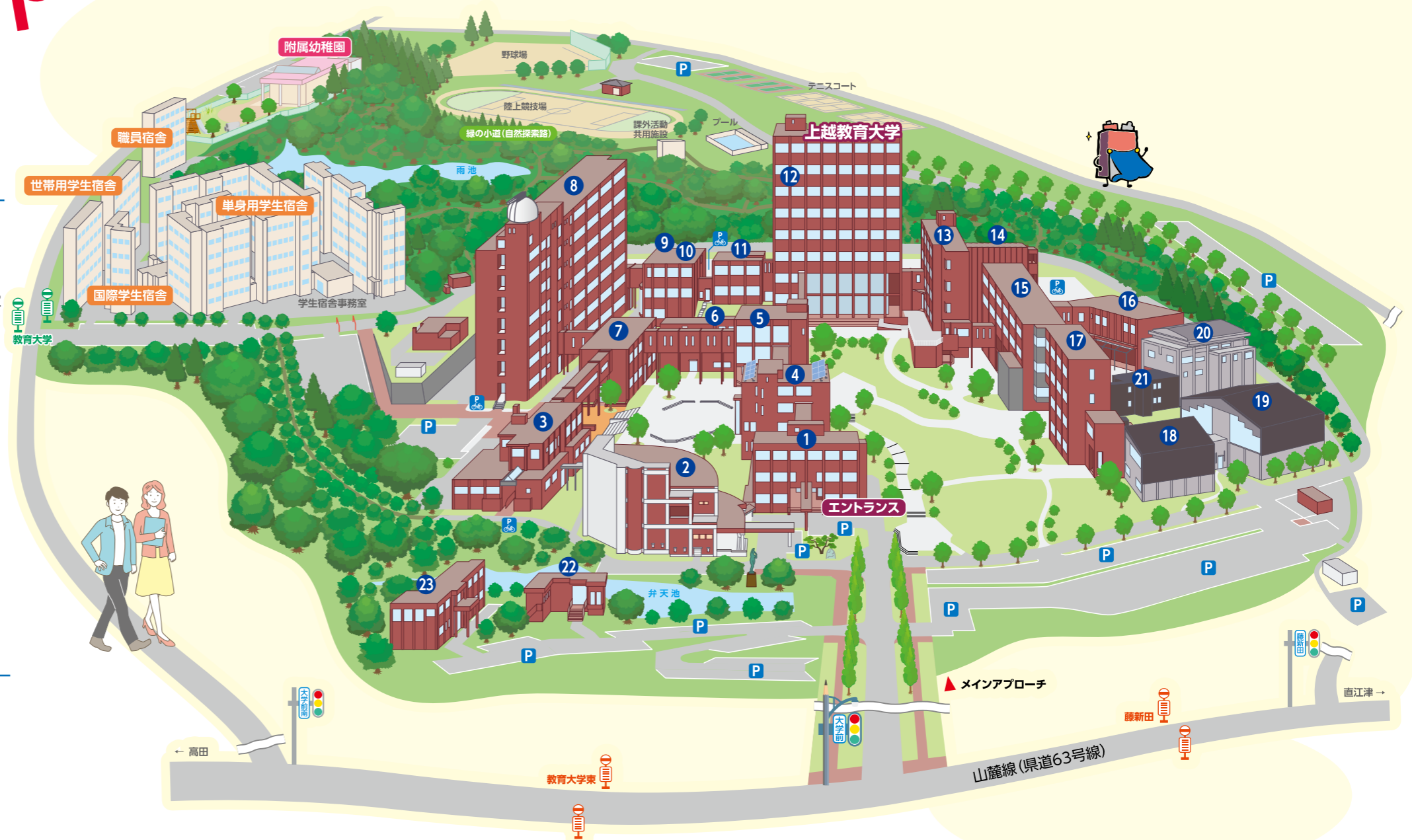


- ③大学会館
 - 1F 第一食堂/売店/保健管理センター/
銀行ATM(第四北越銀行, ゆうちょ銀行)
 - 2F 第二食堂/美容室/理容室/
POTATO(ポテト)/集会室

- ④附属図書館
 - 1F 閲覧室/ホール
 - 2F 入口・受付カウンター/閲覧室/
学術情報課
 - 3F 閲覧室

- ⑤講義棟
 - キャンパスライフ スクエア/
教育支援課/学校実習課/
学生支援課/プレイメントプラザ

- ⑥教職大学院棟
- ⑦実験棟
- ⑧自然棟
- ⑨情報メディア教育支援センター
- ⑩第二講義棟
- ⑪人文棟(低層)
 - 教育実習支援室/
学校実習・ボランティア支援室
- ⑫人文棟
 - 留学生交流プラザ
- ⑬音楽(研究)棟
- ⑭音楽(個人練習室)棟
- ⑮美術(研究)棟
- ⑯美術(実習)棟
- ⑰体育棟
- ⑱小体育館
 - 柔・剣道場/ダンス室/
トレーニング室
- ⑲体育館
- ⑳スポーツ科学実験棟
- ㉑臨床研究棟
- ㉒心理教育相談センター
- ㉓特別支援教育実践研究センター



学生サポート施設

保健管理センター ③

保健管理センターは、学生及び職員の心身の健康の保持・増進を図ることを目的として設置されています。このセンターでは、毎年健康診断などを実施するほか、専門の職員が学生及び職員の心身の健康状況を把握し、必要に応じて指導と助言を行っています。また、カウンセラーによる精神保健相談を行っています。



心理教育相談センター ㉒

心理教育相談センターは、上越近隣地域における子どもから大人の様々なこころの問題を抱えた方々への専門的な心理的援助を行っています。また、公認心理師及び臨床心理士養成のための実習施設として、心理臨床コースの大学院生の研修を行っています。



特別支援教育実践研究センター ㉓

特別支援教育実践研究センターは、特別支援教育に関わる教育臨床や教材開発を通して、高度な実践的指導力をもつ特別支援教育の教員養成を図るとともに、教育相談や指導者研修により、地域の教育・福祉に資することを目的として設置されています。センターでは、授業科目「学校支援フィールドワーク」と密接に関連し、大学院生が特別な教育的ニーズのある子どもへの臨床経験を積み重ね、特別支援教育に関わる指導力の向上や専門性の習得を目指した教育研究活動を行っています。また、公開セミナーや実践研究発表会も開催しています。



地図凡例

- 駐輪場
- 駐車場
- バス停留所



体育施設の利用について

本学では、授業はもちろん、課外活動などで使用できる施設を多様に整備しています。

授業などに支障が無いかぎり事前の許可を得て、使用することができます。

- 陸上競技場 ●サッカー・ラグビー場
- 野球場・ソフトボール場 ●プール
- テニスコート(オムニコート, クレイコート)
- 体育館 ●トレーニング室 ●柔・剣道場
- ダンス室 ●トレーニングルーム

大学会館

大学会館は快適な学生生活のために欠かせない場所です。食事をしたり売店で買い物をするのももちろんですが、理容室、美容室、第四北越銀行・ゆうちょ銀行の現金自動預払機（ATM）、郵便ポスト、各種自動販売機などがあります。施設内での買い物、食事は学生証を使いキャッシュレスでも利用できます。

また、大学生協ではない地元の業者が主体で運営していて、地元スタッフによる温かいサービスが受けられるのが魅力です。



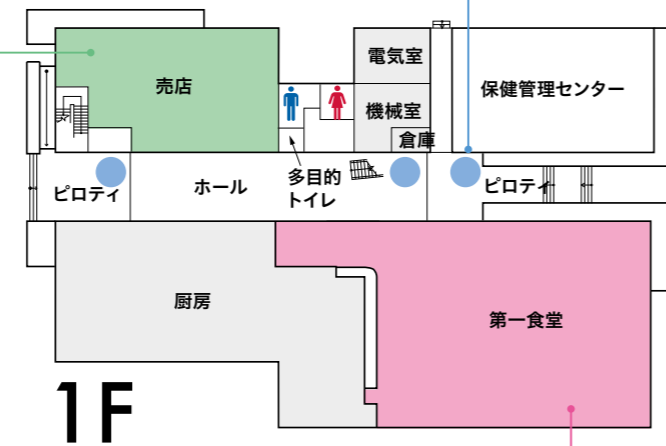
売店

売店（上越教育大学サービスセンター）は、食料品、日用品、文房具、書籍などの販売からクリーニング、宅配便の受付もしてくれます。授業で使用する教科書や専門書なども揃っています。

また、大学のイメージキャラクター「マナーブ・デ・ジョーキョー先生」のグッズや大学のロゴマークの入ったオリジナルパッケージで上越のお米や味噌などを販売しています。お土産に購入してみたいかでしょうか。

ATM & 自販機

第四北越銀行、ゆうちょ銀行のATMと郵便ポストがあります。また、自動販売機もあり、災害時には緊急飲料として提供されます。附属図書館、体育館、人文棟、キャンパスライフスクエアにも同様の自動販売機が設置されています。

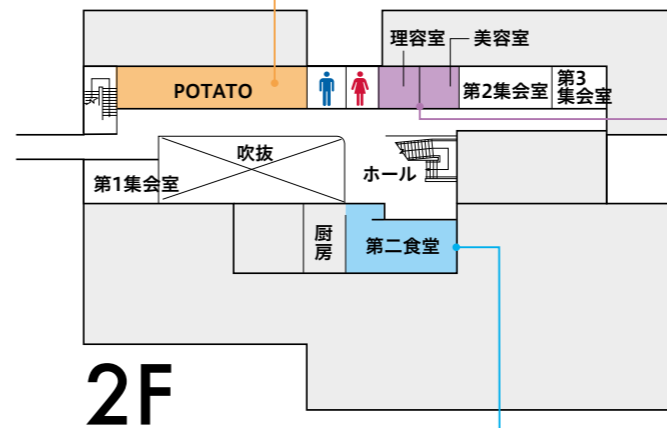


POTATO 〔談話室 20 席～〕

談話室として、いつでも自由に利用することができます。気の合う仲間と学生生活を語り合えるのでは？



部活動や学びのひろばなど、グループ活動の打ち合わせに利用しています。気軽に集まって話し合えるのがいいですね。（村田さん）



理容室 & 美容室

理容室と美容室は予約をして授業の合間など都合の良い時間に利用することができるのでとても便利です。



学生証があればキャッシュレスで利用することもできます。

第一食堂（320 席）

320 席の大きな食堂が第一食堂です。朝、昼、夕と営業していて学生はもちろん、教職員も利用しています。カレーや丼物などのボリューム満点のものや、ラーメン、そばなどの種類、魚やサラダなど安心・安全で健康面に配慮した豊富なメニューを提供しています。



お昼はよく友達と学食に行きます。好きなメニューは唐揚げ丼！でも、カロリーが気になるので1～2週間に1回と決めています（笑）。（後藤さん）

第二食堂（28 席）

第一食堂とは違った雰囲気、ゆっくり静かに食事をしたい時に利用してはいかがでしょうか。フリードリンク付きで値段もお手頃です。



附属図書館

約 37 万冊の図書、4,800 種余の雑誌のほか、DVD・CD などの視聴覚資料、各種データベース、電子ジャーナル約 7,600 タイトルなどが利用できます。

小学校・中学校のすべての教科書があり、教育実習前後の授業研究などに役立っています。また、過去の教科書もあり、現在の教科書との比較研究にも利用されるなど、「ぜったい先生になりたい」学生のための本を揃えています。

お盆と年末年始などを除き、土・日・祝日も開館していて、学生・教職員のほか、卒業生や地域の方々も利用しています。

開館時間

	平日	土・日・祝日
授業期間	9 時～ 22 時	11 時～ 17 時
休業期間（春・夏）	9 時～ 17 時	11 時～ 17 時
休業期間（冬）	9 時～ 17 時	休 館

各フロアの紹介

3階建てで、入り口ゲートは2階です。

1階と3階は個人で静かに学習するための場所、2階は全体が広々とした学習スペースです。プロジェクト、電子黒板、ホワイトボード、書画カメラなどがあり、全館に無線 LAN を整備し、多様な学習をサポートしています。



学校教育実践研究センター

学校教育実践研究センターは、学校及び地域社会と連携しながら、学校教育の実践に関する諸課題を把握し、大学教員、現職教員、学生及びその他の関係者と共同して、当該課題に関する臨床的・実践的・開発的研究を推進することによって、学校教育の改善、充実及び発展に寄与することを目的としています。

そのため、大学と地域の学校や教育機関を結ぶインターフェースとしての役割を担い、以下の事業に取り組んでいます。

1. 教育実習の推進

教育実習関連の委員会と連携・協力して、分離方式の初等教育実習をはじめとする各種教育実習の円滑な運営・実施と履修学生の指導に取り組んでいます。

2. 臨床的、実践的、開発的研究の推進

学校現場の教育課題に基づいた実践的なプロジェクトやシンポジウムを実施するとともに、学校教育に関する理論的・実践的知識を集積すべく、教育実践研究を編集・発行しています。

また、内閣官房拉致問題対策本部事務局からの依頼を受け、拉致問題に関する教育等研修に取り組んでいます。

3. 学校及び地域社会との連携・支援

教育委員会や教職員のニーズを踏まえ、教職員のための自主セミナー、新潟県立教育センターや地域の教育委員会との連携研修を企画・運営するとともに、学校評価支援アンケートシステムを開発・運用しています。



国際交流推進センター

国際交流推進センターは、国際的な学生交流及び学術交流の推進並びに教育研究の充実を図るとともに、学校及び地域社会との連携により、国際的視野を持った人材を養成することを目的として設置されています。

センターでは、異文化コミュニケーション能力と異文化理解マインドを持った教員養成の充実のため、海外の教育・文化に直接触れることのできる授業の開講や、海外留学の促進、留学生の受入れ、外国につながる子どもたちへの修学支援等を行っています。

情報メディア教育支援センター

情報メディア教育支援センターは、本学の情報システム及び情報ネットワークの管理・運用をとおして、学生・教職員の ICT 活用を図り、また、情報教育を総合的に推進することを目的としています。具体的には、①講義室、食堂などの共用スペースには無線 LAN アクセスポイント、その他研究室などにはネットワークコンセントを設置するなど学内のさまざまな場所において、常時インターネットに接続できる学内 LAN【JUEN (Joetsu University of Education, Network)】を整備・運用しています。②教育・研究を支援するための各種情報処理関連室を整備し、授業での利用はもとより、学生の所有する PC を用いて自主学習が可能な環境を整えています。

その他にも、講義支援や業務支援などのサービスが提供できる各種システムを導入すると共に、メールシステムとして、本学独自のドメインにより、全学生に e-mail アドレスを配付しており、その活用環境の整備と運用を図るなど教育・研究の支援を行っています。

なお、本センターでは、入学時に JUEN の利用方法や情報セキュリティに関する講習会を開催しているほか、ヘルプデスクを常設して端末機器のトラブルや質問に対応しています。



▲情報セキュリティ講演会

附属学校(幼稚園・小学校・中学校)

学校教育に関する実証的な研究と学生の教育実習を行うため、附属幼稚園、附属小学校及び附属中学校が設置されています。

附属幼稚園は、幼児の豊かな体験を大切に保育を推進するとともに、幼児教育の質向上に資するための研究・実践に取り組み、全国発信しています。

附属小学校は、全国に先駆けて総合を中核とした教育課程開発研究に取り組み、長年にわたる子ども理解の原則に基づいた研究成果は全国の学校で活かされています。

附属中学校は、ICTを用いた先進的な取組により Apple 社の「Apple Distinguished School 2019-2022」に認定されました。生徒に一人1台の iPad を活用させることで、生徒の創造性を刺激し、多様なコミュニケーションと表現を生み出す教育活動に挑戦し、その成果を発信し続けています。



▲附属幼稚園



▲附属小学校



▲附属中学校

学生宿舎

学生に勉学と生活に適した環境を提供し、自立的な共同生活を通じて自主性・協調性のある人間形成を図るため、山麓地区のキャンパス内の緑に囲まれた一画に学生宿舎を設置しています。

単身用学生宿舎（男子棟・女子棟）

各居室には、机、椅子、ベッド及び内線電話（無料）等が備えてあります。（室内に水道・ガス設備はありません。）暖房は各居室に設置されていますが、冷房はないため、希望者は窓用クーラーを大学から借りることができます。また、各自で窓用クーラーを購入し、設置することもできます。

各階には、補食室、洗面・洗濯室及びトイレがあり、浴室は男女各2室あります。

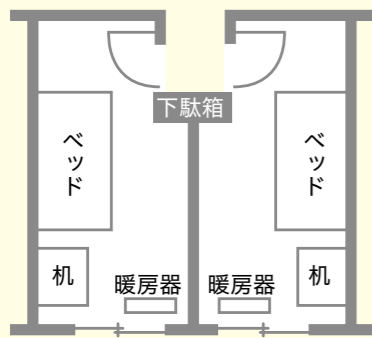
安全管理のため学生証を各玄関のカードリーダーにかざして入館します。

名称	収容人員等	寄宿料（月額）	諸経費（月額）
単身用学生宿舎（5階建12棟）	630人 （男子300人） 女子330人	I型（個室） 4,300円	○共益費 2,000円 ○私生活のために使用する光熱水料 夏期 約6,000円 冬期 約13,000円 ○窓用クーラー貸出料（希望者のみ） 1,000円
		II型（個室） 7,700円 ※女子棟のみ	

※共益費は改定される場合があります。

単身用個室

I型（個室／約6畳）



II型（個室／約12畳）※女子棟のみ



建物玄関
防犯用に「カードロックシステム」を設置。入館の際、学生証をカードリーダーにかざして入ります。



補食室（共用、各階1ヶ所）
コイン式ガスコンロ・瞬間湯沸器



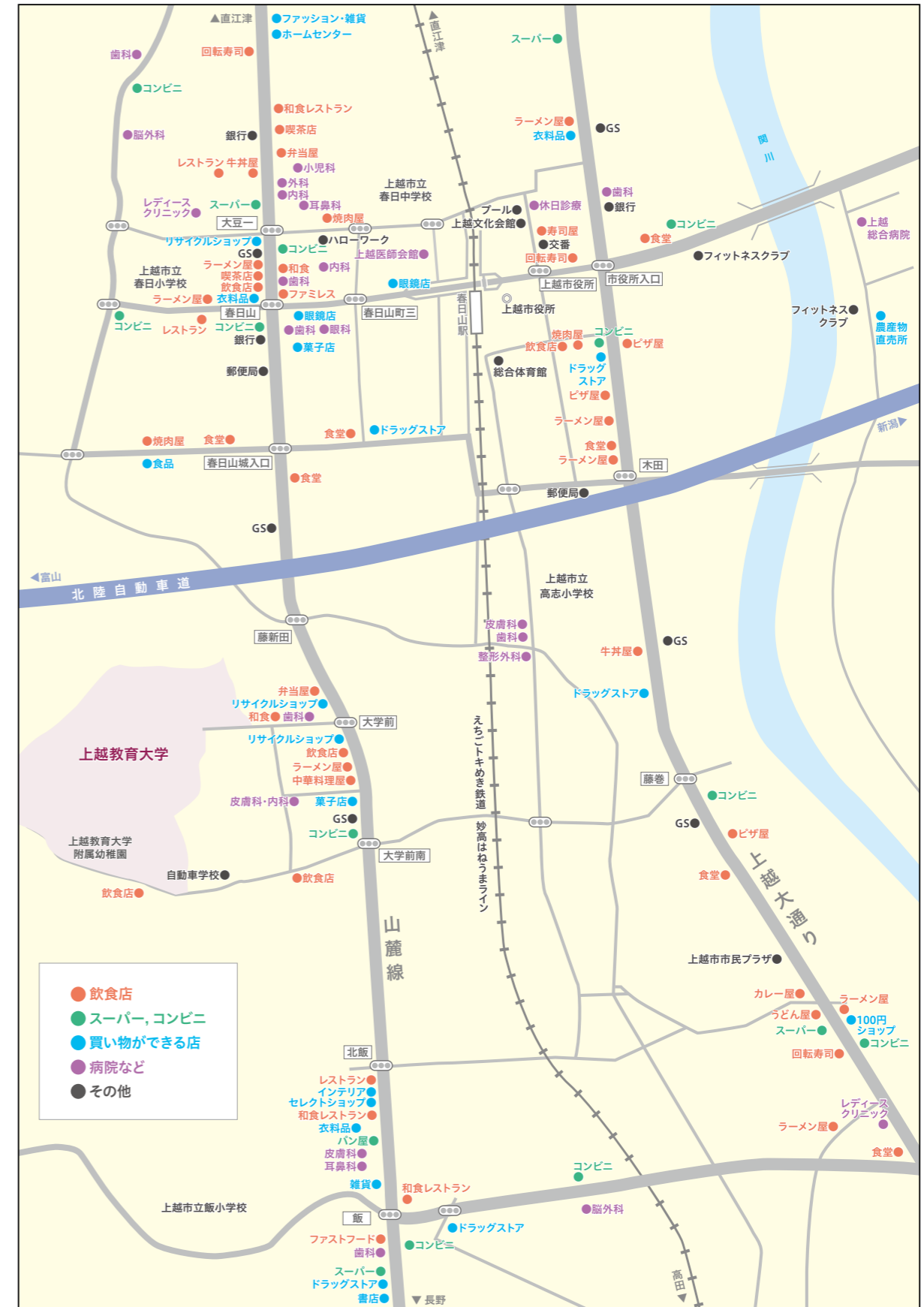
洗面・洗濯室（共用、各階1ヶ所）
コイン式洗濯機・乾燥機



浴室（共用、男・女各2ヶ所）

キャンパス周辺

近隣には飲食店やコンビニ、病院もあるので安心です。



本学へのアクセスとキャンパス

周辺について

広域マップ

電車でのアクセス

- 約1時間50分: 東京 → 北陸新幹線 → 上越妙高
- 約3時間50分: 大阪 (特急サンダーバード) → 金沢 → 北陸新幹線 → 上越妙高
- 約3時間20分: 名古屋 → 中央本線 → 長野 → 北陸新幹線 → 上越妙高

車でのアクセス

- 約3時間30分: 関越自動車道 → 上信越自動車道 → 上越高田
- 約5時間30分: 名神高速道路 → 北陸自動車道 → 上越
- 約4時間: 中央自動車道 → 上信越自動車道 → 上越高田

キャンパス周辺マップ

上越妙高駅から……

- [タクシー] 上越妙高駅前から乗車 (約20分)
- [バス] 上越妙高駅前から [36] 山麓線乗車, 「教育大学東」下車 (約20分, 平日のみ運行, 1日3便)
- [鉄道] えちごトキめき鉄道 (妙高はなうまライン) の下り線に乗車 (約10分), 「春日山駅」下車, 徒歩で約25分 (2.2km)

高田駅……

- [タクシー] 高田駅前から乗車 (約10分)
- [バス] 高田駅近くの「本町六丁目」から [5] 教育大学線乗車, 「教育大学」下車 (約15分)

直江津駅から……

- [タクシー] 直江津駅前から乗車 (約10分)
- [バス] 直江津駅前から [5] 教育大学線乗車, 「教育大学」下車 (約20分)
- [バス] 直江津駅前から [36] 山麓線乗車, 「教育大学東」下車 (約15分, 平日のみ運行, 1日3便)

学びの場は、多くの歴史と文化が薫るまち

上越市は、新潟県南西部の日本海に面して位置し、市の中央部には、関川、保倉川などが流れ、この流域に高田平野が広がっています。この広大な平野を取り囲むように、米山山地、東頸城丘陵、関田山脈、南葉山地、西頸城山地などの山々が連なっています。海岸線には砂浜や天然の湖沼群が点在し、多様な自然を有する海・山・大地に恵まれた自然豊かな地域です。古くから日本海側の交通の要衝として栄えましたが、現在も重要港湾である直江津港、北陸自動車道と上信越自動車道、JR 信越本線、ほくほく線に加え、2015年(平成27年)から北陸新幹線とえちご

トキめき鉄道が開業するなど、陸・海の広域交通の結節点としての拠点性は一層高まっており、上越魚沼地域振興快速道路などのプロジェクトも進行しています。



本学に関するお問合せ先

入試	入試課	025-521-3294	nyushi@juen.ac.jp
カリキュラム・免許状	教育支援課	025-521-3275, 3278	kyosien@juen.ac.jp
教育実習	学校実習課	025-521-3277	zissyuu@juen.ac.jp
学生生活全般	学生支援課	025-521-3283	gkikaku@juen.ac.jp
奨学金、入学金・授業料免除	学生支援課	025-521-3286	syogaku@juen.ac.jp
学生宿舍	学生支援課	025-521-3287	syukusya@juen.ac.jp
就職・進路	プレイメントプラザ	025-521-3597	recruit@juen.ac.jp
オープンキャンパス、その他	広報課	025-521-3626	nyushik@juen.ac.jp

上越教育大学 オープンキャンパス 2022

Open Campus!

ぜったい先生になりたい人集まれ!

来場型
7月30日
9:30~15:30
6月20日 受付開始

WEBオープンキャンパスも実施! (8月~) 詳しくはコチラから